

# シラバス

---

2024年度 授業の概要と授業計画

情報システム科  
IT・アプリコース 1年

 秋田コア ビジネスカレッジ

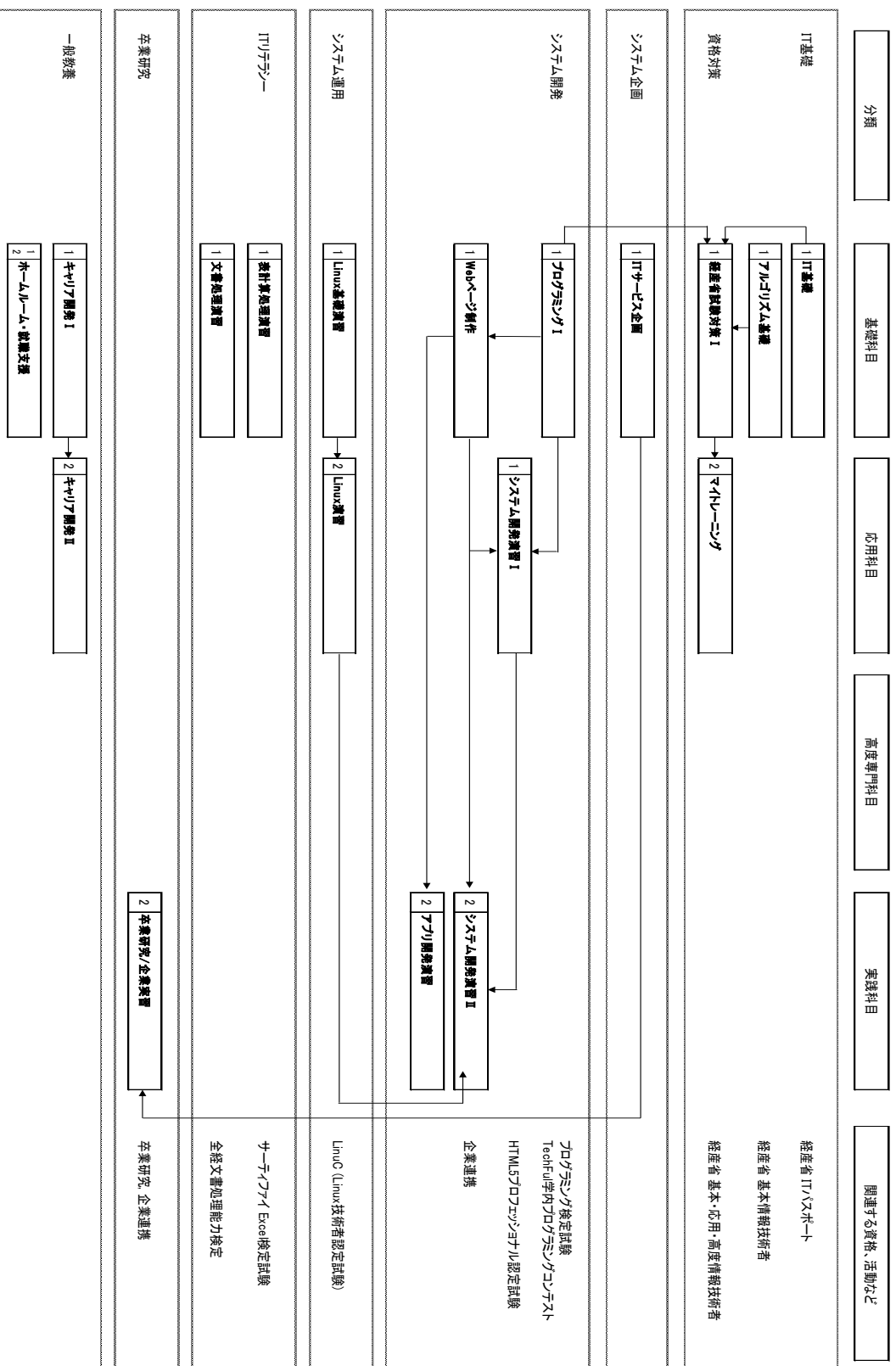
## 資格試験一覧

(情報システム科 IT・アプリコース)

| 資格名   | 試験日                 | 対象   | 実施するレベル     | 検定料金    | 取得ポイント                                     |
|---|---------------------|------|-------------|---------|--|
| 経済産業省 ITパスポート   | 随時                  | 1年   | レベル1        | 7,500円  | 3  |
| 経済産業省 基本情報技術者<br>経済産業省 情報セキュリティマネジメント                               | 随時                  | 1,2年 | レベル2        | 7,500円  | 5  |
| 経済産業省 応用情報技術者   | 4/21(日)<br>10/13(日) | 2,3年 | レベル3        | 7,500円  | 6  |
| 経済産業省 情報処理安全確保<br>支援士<br>経済産業省 ネットワークスペシャリスト<br>経済産業省 データベーススペシャリスト | 4/21(日)<br>10/13(日) | 2,3年 | レベル4        | 7,500円  | 7  |
| 基本情報技術者<br>午前科目免除試験   | 12/8(日)             | 1年   | 基本情報技術者午前試験 | 2,000円  | 3  |
| サテファイ主催<br>Excel表計算処理技能認定試験   | 9月下旬                | 1年   | 3級          | 4,300円  | 3級 1<br>2級 2<br>1級 3                       |
|   | 9月下旬                |      | 2級          | 5,300円  |  |
| サテファイ主催<br>Javaプログラミング<br>能力認定試験                                    | 随時                  | 希望者  | 3級(筆記60分)   | 5,400円  | 3級 1<br>2級 2<br>1級 3                       |
|   |                     |      | 2級(筆記90分)   | 6,600円  |  |
|   |                     |      | 1級(実技150分)  | 8,000円  |  |
| 全国経理教育協会主催<br>文書処理能力検定  | 11月上旬               | 1年   | 3級          | 3,200円  | 3級 1<br>2級 2<br>1級 3                       |
|   | 11月上旬               |      | 2級          | 4,200円  |  |
| Python3エンジニア認定試験  | 随時                  | 希望者  | 基礎試験        | 5,500円  | 基礎 4<br>データ 6                              |
|   |                     |      | データ分析試験     | 5,500円  |  |
| LPIC(Linux技術者認定試験)  | 随時                  | 希望者  | Essentials  | 7,400円  | Essentials 2<br>レベル1 4<br>レベル2 6<br>レベル3 7 |
|   |                     |      | レベル1        | 22,000円 |  |
|   |                     |      | レベル2        | 22,000円 |  |
| HTML5(HTML5プロフェッショナル<br>認定試験)                                       | 随時                  | 希望者  | レベル1        | 16,500円 | レベル1 3<br>レベル2 4                           |
|   |                     |      | レベル2        | 16,500円 |  |



情報システム科(IT・アプリケーション) 科目関連図



# 情報システム科

## IT・アプリコース 1年

1. IT基礎科目
  - (1) IT基礎
  - (2) アルゴリズム基礎
  
2. 資格対策
  - (1) 経産省試験対策 I
  
3. システム企画
  - (1) ITサービス企画
  
4. システム開発
  - (1) プログラミング I
  - (2) システム開発演習 I
  - (3) Web ページ制作
  
5. システム運用
  - (1) Linux 基礎演習
  
6. ITリテラシー
  - (1) 表計算処理演習
  - (2) 文書処理演習
  
7. 実践科目
  - (1) マイトレーニング
  
8. 一般教養
  - (1) キャリア開発 I

|      |  |      |    |
|------|--|------|----|
| 科目名  | IT 基礎  | 期間   | 前期 |
| 対象   | 高度職業実践科 IT スペシャリストコース 1 年<br>情報システム科 IT・アプリコース 1 年   | 授業回数 | 90 |
| 授業方法 | 講義   | 単位数  | 12 |
| 教員名  | 黒澤勝、小坂幸貴   | 分類   | 一般 |
| 目標   | <p>ビジネスや社会の目線から、IT を捉えられるようになる。</p> <p>IT リテラシーを身につける。IT パスポート試験や基本情報技術者試験科目 A に合格を目標とする。得られた知識を活用してさらに高度な IT に関する知識やスキルを得るための土台とする。</p>                                   |      |    |
| 概要   | <p>社会人として、あるいは、IT エンジニアとしての業務を遂行する上で支障のないレベルの IT リテラシーを身につける。個人が教科書等をベースに基本的な用語の意味を理解するとともに、どのような技術へと展開されているのか、グループ学習にてその関連性を探る。</p> <p>また、知識の定着を確認する上で小テスト等を繰り返し実施する。</p> |      |    |
| 評価方法 | 出席状況、授業態度（参加度）、小テスト、検定試験結果の総合評価  |      |    |

|      |                                    |
|------|------------------------------------|
| 授業計画 | (テクノロジ系) 担当：黒澤                     |
|      | 1 基礎理論 (2進数、16進数について)              |
|      | 2 基礎理論 (論理演算について)                  |
|      | 3 アルゴリズムの基礎 (プログラミング言語、マークアップ言語)   |
|      | 4 コンピュータシステム (入出力装置と記憶装置)          |
|      | 5 コンピュータシステム (プロセッサ、制御装置、演算装置)     |
|      | 6 ソフトウェア (オペレーティング・システム)           |
|      | 7 ソフトウェア (ファイルとパスについて)             |
|      | 8 オープンソフトウェアについて                   |
|      | 9 システム構成と評価指標                      |
|      | 10 マルチメディアとヒューマンインターフェース           |
|      | 11 データベースの基礎                       |
|      | 12 データベースの操作方法                     |
|      | 13 データベースの運用                       |
|      | 14 ネットワークとは                        |
|      | 15 LAN について                        |
|      | 16 WAN、インターネットについて                 |
|      | 17 TCP/IP について (1) IP アドレス         |
|      | 18 TCP/IP について (2) アプリケーションプロトコル   |
|      | 19 セキュリティの基本 (CIA について)            |
|      | 20 セキュリティ対策 (1) (ネットワーク関連について)     |
|      | 21 セキュリティ対策 (2) (暗号化、認証について)       |
|      | 22～30 復習・応用知識・答案練習                 |
|      | (ストラテジ系) 担当：小坂                     |
|      | 31～32 企業活動 (1) (組織について)            |
|      | 33～34 企業活動 (2) (会計・財務について)         |
|      | 35 法務 (1) (知的財産権について)              |
|      | 36 法務 (2) (セキュリティ関連法規について)         |
|      | 37 法務 (3) (労働関連法規、取引関連法規について)      |
|      | 38 標準化について                         |
|      | 39 経営戦略 (1) (SWOT 分析、PLC、PPM について) |
|      | 40 経営戦略 (2) (代表的な戦略、アライアンスについて)    |
|      | 41 経営戦略 (3) (マーケティング、4つのP、4つのC)    |
|      | 42 経営戦略 (4) (販売戦略、ビジネス戦略について)      |
|      | 43 経営戦略 (5) (経営管理システムについて)         |
|      | 44 ビジネスインダストリ (1) (ビジネスシステムについて)   |

|               |  |
|---------------|--|
|               | <p>45～46 ビジネスインダストリ（2）（インターネットを活用したシステムについて）</p> <p>47 システム戦略（1）（業務プロセスのモデル化について）</p> <p>48～55 システム戦略（2）（ソリューションビジネス、IT サービスの形態について）</p> <p>56 システム企画（1）（要件定義、機能要件、非機能要件について）</p> <p>57 システム企画（2）（調達の流れ）</p> <p>58～70 復習・応用知識・答案練習</p> <p>（マネジメント系）担当：小坂</p> <p>71 システム開発のプロセス（1）（開発手法について）</p> <p>72 システム開発のプロセス（2）（テストについて、バグについて）</p> <p>73 システム開発のプロセス（3）（工数見積もりについて）</p> <p>74 プロジェクトマネジメント（1）（プロジェクトとは、PMBOK とは）</p> <p>75 プロジェクトマネジメント（2）（タイムマネジメント、PERT）</p> <p>76 プロジェクトマネジメント（3）（コストマネジメント、EVM）</p> <p>77 サービスマネジメント（1）（ITIL について）</p> <p>78 サービスマネジメント（2）（サービスサポートについて）</p> <p>79 システム監査について</p> <p>80 復習・応用知識・答案練習</p> <p>※以上3分野は、並行して行う。</p> <p>81～90 模擬試験、解説</p> <p>（その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最新の IT に関する技術動向、トピックスについて考察する。</li> </ul> |
| <p>使用教材等</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 5-6 年度版 IT パスポート試験 対策テキスト&amp;過去問題集（よくわかるマスター）<br/>（FOM 出版）</li> <li>IT パスポート試験 書いて覚える学習ドリル（よくわかるマスター）（FOM 出版）</li> <li>インターネット上のリソース</li> <li>プリント</li> </ul>   |
| <p>履修上の注意</p> | <p>自分から IT について興味、関心を持ち、最新情報や技術動向を把握し、IT に慣れ親しむようにすること。</p>  |



|        |   |      |    |
|--------|---|------|----|
| 科目名    | アルゴリズム基礎  | 期間   | 通年 |
| 対象     | 高度職業実践科 IT スペシャリストコース 1 年<br>情報システム科 IT・アプリコース 1 年  | 授業回数 | 45 |
| 授業方法   | 講義  | 単位数  | 6  |
| 教員名    | 鈴木 経義   | 分類   | 一般 |
| 目標     | アルゴリズムについて理解し、疑似言語プログラムの読み書きができるようになる。基本情報技術者試験の科目 B に出題されるアルゴリズムの問題が解けるようになる。  |      |    |
| 概要     | 疑似言語を通して、解法としてのアルゴリズムを捉える。また、疑似言語でのトレースを通してプログラミングへの理解を深める。後期には基本情報技術者試験科目 B に対応する能力を高める。さらに、必要に応じて、情報数学の基礎を補う。   |      |    |
| 評価方法   | 出席状況及び授業態度（参加度）、課題提出、期末試験の総合評価  |      |    |
| 授業計画   | 1～3 アルゴリズムと疑似言語について<br>4～15 疑似言語の仕様、基本データ処理、配列<br>16～20 探索処理、整列処理<br>21～25 データ構造（リスト、スタック、キュー）、オブジェクト指向<br>26～30 基本問題演習と関係する情報数学<br>31～35 疑似言語問題演習<br>36～45 科目 B サンプル演習 |      |    |
| 使用教材等  | ・疑似言語で学ぶアルゴリズム（インフォテック・サーブ）<br>・基本情報技術者サンプル問題<br>・プリント等   |      |    |
| 履修上の注意 | アルゴリズムは単に試験科目というだけではなく、基本的プログラミングスキルです。実務への応用まで考えると、基本をしっかり理解してもらいたい。それには、プログラムを1ステップずつトレースすることです。ノートにトレース表を作り、面倒がらずデータの変遷を追うことが大切です。                                   |      |    |

|      |  |      |    |
|------|--|------|----|
| 科目名  | 経産省試験対策 I  | 期間   | 後期 |
| 対象   | 高度職業実践科 IT スペシャリストコース 1 年<br>情報システム科 IT・アプリコース 1 年   | 授業回数 | 60 |
| 授業方法 | 講義   | 単位数  | 8  |
| 教員名  | 黒澤 勝、小坂 幸貴   | 分類   | 一般 |
| 目標   | 経済産業省基本情報技術者試験の合格レベルの知識、技能を身につける。  |      |    |
| 概要   | 経済産業省基本情報技術者試験の合格レベルの知識、技能を学習し、免除科目認定試験を受験する。さらに、基本情報技術者試験本試験に向けた対策を行う。  |      |    |
| 評価方法 | 出席状況、授業態度（参加度）、模擬試験結果、検定試験結果などの総合評価  |      |    |
| 授業計画 | <p>(基礎理論・コンピュータシステム・技術要素) 担当：黒澤</p> <p>1～2 離散数学</p> <p>3～4 応用数学</p> <p>5 情報・計測・制御に関する理論</p> <p>6～7 データ構造</p> <p>8～9 アルゴリズム</p> <p>10 プログラミング、プログラム言語</p> <p>11 プロセッサ、メモリ、バス、入出力デバイス、入出力装置</p> <p>12 システムの構成、システムの評価指標</p> <p>13 オペレーティングシステム</p> <p>14 ミドルウェア、ファイルシステム、開発ツール、オープンソース</p> <p>15 ヒューマンインタフェース技術、インタフェース設計、マルチメディア</p> <p>16 データベース方式</p> <p>17～18 データベース設計</p> <p>19～20 データ操作</p> <p>21 トランザクション処理、データベース応用</p> <p>22 ネットワーク方式、データ通信と制御、通信に関する理論</p> <p>23 通信プロトコル</p> <p>24 ネットワーク管理、ネットワーク応用</p> <p>25～26 情報セキュリティ</p> |      |    |

|                    |   |
|--------------------|---|
|                    | <p>27 情報セキュリティ管理、セキュリティ技術評価、情報セキュリティ対策</p> <p>(開発技術・マネジメント・ストラテジ) 担当：小坂</p> <p>28 システム要件定義、システム方式設計、ソフトウェア要件定義</p> <p>29 ソフトウェア方式設計、ソフトウェア構築、ソフトウェアのテスト</p> <p>30 導入、受入れ支援、保守・廃棄、ソフトウェア開発管理技術</p> <p>31 プロジェクトマネジメント、プロジェクトの統合、ステークホルダ</p> <p>32 プロジェクトのスコープ、資源、時間</p> <p>33 プロジェクトのコスト</p> <p>34 プロジェクトのリスク、品質、調達、プロジェクトのコミュニケーション</p> <p>35 サービスマネジメント</p> <p>36 システム監査</p> <p>37 情報システム戦略、業務プロセス</p> <p>38 ソリューションビジネス、システム活用促進・評価</p> <p>39 システム企画</p> <p>40 経営戦略手法、マーケティング</p> <p>41 ビジネス戦略と目標・評価、技術戦略マネジメント、経営管理システム</p> <p>42 エンジニアリングシステム、eビジネス、民生機器、産業機器</p> <p>43 経営・組織論、OR・IE</p> <p>44 会計・財務</p> <p>45 法務</p> <p>※以上3分野は、並行して行う。</p> <p>46～60 基本情報科目A免除試験対策</p> |
| <p>使用教材<br/>等</p>  | <p>・徹底攻略 基本情報技術者教科書 令和6年度（インプレス）</p> <p>・模擬試験</p> <p>・プリント等</p>   |
| <p>履修上の<br/>注意</p> | <p>必ず合格するという強い意志を持ち続けること。授業時間だけでは不足するので、自学自習の時間を確保すること。</p>   |

|        |   |      |    |
|--------|---|------|----|
| 科目名    | IT サービス企画   | 期間   | 前期 |
| 対象     | 高度職業実践科 IT スペシャリストコース 1 年<br>情報システム科 IT・アプリコース 1 年  | 授業回数 | 15 |
| 授業方法   | 演習  | 単位数  | 1  |
| 教員名    | 米谷 久志   | 分類   | 一般 |
| 目標     | 現在展開されている IT 関連技術や社会状況に対し興味を広げ、将来の構想として新規事業の創成を考察・立案できるようになること。   |      |    |
| 概要     | IT 業界で現在展開されているシステムはどのようなサービスなのかについて理解し、それを背景にどのような新しいサービスを提供できるかを考案・企画・発表する。   |      |    |
| 評価方法   | 出席状況、授業態度（参加度新しい企画に対して、①実現性を補強する情報の収集力、②企画書によるまとめ方、③プレゼン資料の訴求力 ④発表の表現力 などの総合評価  |      |    |
| 授業計画   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 IT 業界について 業界マップ、特色、近年の動向</li> <li>2 情報システムによる分類、プラットフォーム/ビジネスモデルについて</li> <li>3 技術要素による分類、プラットフォーム/ビジネスモデルについて</li> <li>4 発想法について</li> <li>5 テーマ 1 グループワーク 1</li> <li>6 発表 1</li> <li>7 テーマ 2 個人ワーク</li> <li>8 テーマ 2 グループワーク</li> <li>9 テーマ 2 発表リハーサル</li> <li>10 発表 2</li> <li>11 パワーポイントの使い方</li> <li>12 テーマ 3 個人ワーク</li> <li>13 テーマ 3 グループワーク</li> <li>14 テーマ 3 発表リハーサル</li> <li>15 発表 3</li> </ol> |      |    |
| 使用教材等  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスフレームワーク図鑑 すぐ使える問題解決・アイデア発想ツール</li> <li>70・インターネット上のリソース・プリント等</li> </ul>  |      |    |
| 履修上の注意 |   |      |    |

|      |   |      |                   |
|------|---|------|-------------------|
| 科目名  | プログラミング I   | 期間   | 通年                |
| 対象   | 高度職業実践科 IT スペシャリストコース 1 年<br>情報システム科 IT・アプリコース 1 年  | 授業回数 | 30                |
| 授業方法 | 演習  | 単位数  | 2                 |
| 教員名  | 小坂 幸貴   | 分類   | 実務<br>(プログラミング担当) |
| 目標   | Java 言語を題材にして、プログラミングの基礎を習得する。Java 言語を使用して簡単なアプリケーションの開発ができるようになる。  |      |                   |
| 概要   | Java の基本文法を、演習を通しながら習得する。教材のサンプルを実際にプログラミングして動かすことにより理解を深める。また、学内のプログラミングコンテストのための練習を行う。  |      |                   |
| 評価方法 | 出席状況、授業態度（参加度）、課題提出、期末試験の総合評価   |      |                   |
| 授業計画 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Java の基本 <ul style="list-style-type: none"> <li>1. Java とオブジェクト指向</li> <li>2. Java の環境構築、コンパイルと実行</li> <li>3 - 4. 型、変数、配列</li> <li>5 - 6. 演算と演算子</li> <li>7 - 8. 分岐構造、論理式、if 文、switch 文</li> <li>9 - 10. 反復構造、for 文、while 文</li> <li>11 - 12. メソッド</li> <li>13 - 14. クラスとインスタンス</li> <li>15. スコープ、アクセス修飾子、カプセル化</li> </ul> </li> <li>・ Java 応用 <ul style="list-style-type: none"> <li>16 - 18. 継承、インタフェース</li> <li>19 - 21. 例外処理、try~catch 文</li> <li>22 - 24. コレクションフレームワーク</li> <li>25 - 26. ファイル I/O</li> <li>27 - 28. ラムダ式</li> <li>29 - 30. 予備日</li> </ul> </li> </ul> <p>※学内プログラミングコンテストの予選と本戦を行う計画がある</p> |      |                   |

|        |   |
|--------|---|
| 使用教材等  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・よくわかる Java 入門 富士通ラーニングメディア</li> <li>・Java[完全]入門 SB クリエイティブ</li> <li>・TechFul(プログラミングの練習・競技サイト)</li> <li>・プリント等</li> </ul> |
| 履修上の注意 | 自ら時間を作り、何度も繰り返し練習すること。エラーやトラブルに対して簡単に諦めず、必ず問題を解決させるという強い意志で粘り強く取り組むこと。  |

|      |   |      |                           |
|------|---|------|---------------------------|
| 科目名  | システム開発演習  | 期間   | 後期                        |
| 対象   | 高度職業実践科 IT スペシャリストコース 1 年<br>情報システム科 IT・アプリコース 1 年  | 授業回数 | 75                        |
| 授業方法 | 演習  | 単位数  | 5                         |
| 教員名  | 小坂 幸貴、黒澤 勝  | 分類   | 実務<br>(プログラミング・システム開発 担当) |
| 目標   | システム開発における各工程を理解し、設計書について作成・変更・レビューができるようになる。また、プロジェクトマネジメントについて、見積もり・進捗について理解を深める。   |      |                           |
| 概要   | <ul style="list-style-type: none"> <li>① 要求定義、要件定義、基本設計、入出力設計、データベース設計の演習を行う。</li> <li>② オブジェクト指向設計で用いられる UML 図の作成演習を行う。</li> <li>③ プロジェクトを立案・計画し、進捗について管理する演習を行う。</li> <li>④ サーブレットコンテナを用いて Web アプリケーションの開発演習を行う。</li> </ul> |      |                           |
| 評価方法 | 出席状況、授業態度（参加度）、実践演習などの総合評価  |      |                           |

|               |   |
|---------------|---|
| <p>授業計画</p>   | <p>0. Java とサーブレットと JSP を使う<br/>Web アプリ、Pleiades(Eclipse)の使い方</p> <p>1. プロジェクトとスケジュール管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗管理 (ガントチャート)について</li> <li>・ウォーターフォール型開発について</li> <li>・要求定義と要件定義とは</li> <li>・外部設計、入出力設計、画面設計とは</li> <li>・内部設計、プログラム設計とは</li> <li>・設計書について</li> </ul> <p>※プロジェクト管理については、企業から講師を招いて実務指導を受けることがある。</p> <p>2. プロジェクト(システム/ソフトウェア設計)演習 I</p> <p>3. データベース設計、ER モデル、多重度、正規化とは</p> <p>4. オブジェクト指向設計とは</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユースケース図と機能要件、非機能要件について</li> <li>・クラス図とオブジェクト図について</li> <li>・シーケンス図について</li> <li>・状態マシン図について</li> </ul> <p>5. プロジェクト</p> <p>(Java サーブレットによる Web アプリケーション開発)演習 II</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトの立案</li> <li>・機能の洗い出しと、規模・工数の見積もりについて</li> <li>・チーム作業について、作業分担について</li> <li>・コーディング規約について</li> <li>・開発環境について</li> </ul> <p>(コミュニケーションツール、バージョン管理ツール)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テストについて (単体テスト、結合テスト、総合テスト)</li> </ul> |
| <p>使用教材等</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スッキリわかるサーブレット&amp;JSP 入門 第3版 インプレス</li> <li>・プリント等</li> </ul>   |
| <p>履修上の注意</p> | <p>頭の中だけで考えず実際に手を動かして作成し、試行錯誤を繰り返すこと。</p>   |

|        |  |      |                     |
|--------|--|------|---------------------|
| 科目名    | Web ページ制作  | 期間   | 通年                  |
| 対象     | 高度職業実践科 IT スペシャリストコース 1 年<br>情報システム科 IT・アプリコース 1 年   | 授業回数 | 30                  |
| 授業方法   | 演習   | 単位数  | 1                   |
| 教員名    | 黒澤 勝   | 分類   | 実務<br>(Web 系システム開発) |
| 目標     | Web ページを構成する HTML、CSS、JS の基本的な構造を理解し、Web アプリケーション開発の基礎を身につける。  |      |                     |
| 概要     | HTML や CSS、JS を使用して Web ページ制作の演習を行う。演習を通して身につけた技術を活用し、実際に Web ページの制作を行う。   |      |                     |
| 評価方法   | 出席状況、授業態度（参加度）、課題、期末試験などの総合評価  |      |                     |
| 授業計画   | <p>HTML 編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な HTML タグを知る</li> <li>・ SublimeText や VSCode といったエディタの設定を知る</li> <li>・ HTML タグの役割分担を知る</li> <li>・ タグのネストについて</li> </ul> <p>CSS 編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本的な CSS の役割を知る</li> <li>・ CSS のプロパティと使用用途を知る/CSS の優先順位</li> <li>・ テンプレートを利用したレアウト演習</li> </ul> <p>JavaScript (JS) 編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ JavaScript の基本的な分法を知る</li> <li>・ 変数や関数を知る</li> <li>・ 配列処理やループ</li> <li>・ DOM 操作</li> <li>・ オブジェクト指向</li> </ul> <p>Web システム開発のために、JS フレームワークを理解していく必要があり、そのベースとなる 3 点 (HTML・CSS・JS) を重点的に学ぶ</p> |      |                     |
| 使用教材等  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 冊ですべて身につく HTML&amp;CSS と Web デザイン</li> <li>・ 解きながら学ぶ JavaScript つみあげトレーニングブック</li> </ul>  |      |                     |
| 履修上の注意 | Web 系アプリケーション開発の基礎となる内容なので、練習と試行錯誤を繰り返して HTML と CSS の役割、構造の理解に努めること。   |      |                     |



|        |   |      |                 |
|--------|---|------|-----------------|
| 科目名    | Linux 基礎演習  | 期間   | 後期              |
| 対象     | 高度職業実践科 IT スペシャリストコース 1 年<br>情報システム科 IT・アプリコース 1 年  | 授業回数 | 15              |
| 授業方法   | 演習  | 単位数  | 1               |
| 教員名    | 小坂 幸貴   | 分類   | 実務 (サーバ構築補佐・保守) |
| 目標     | LPI の Linux Essentials 検定相当の Linux スキルを身につける。   |      |                 |
| 概要     | サーバ OS としてスタンダードな Linux の基本操作を試しながら習得を目指す。合わせて CLI による操作と基本コマンドを覚える。  |      |                 |
| 評価方法   | 出席状況、授業態度 (参加度)、宿題提出状況、期末試験などの総合評価  |      |                 |
| 授業計画   | <p>1 - 2 WSL での Ubuntu インストールと設定</p> <p>3 Linux 基礎知識</p> <p>4 - 6 ファイルとディレクトリ<br/>ls, cp, mv, rm, mkdir, rmdir, cd, pwd<br/>find, which, 絶対パスと相対パス<br/>属性とパーミッション・ハードリンクとシンボリックリンク<br/>アーカイブ</p> <p>7 - 8 シェルとコマンドライン<br/>リダイレクト、アペンド、パイプ</p> <p>9 - 10 テキスト操作 cat, touch, head, tail</p> <p>11 - 12 正規表現<br/>grep コマンドと正規表現の基礎<br/>sed コマンド</p> <p>13 テキスト加工 wc, sort, uniq, tr, diff</p> <p>14 vi エディタ基礎<br/>ファイルを開く、保存して閉じる、保存せずに閉じる<br/>インサートモードとコマンドモード</p> <p>15 vi エディタ応用<br/>カーソル移動、ヤンク、ペースト、アンドゥ、検索と置換</p> |      |                 |
| 使用教材等  | ・技術評論社 ゼロからわかる Linux コマンド 200 本ノック  |      |                 |
| 履修上の注意 | キーボード入力メインとなるので、タイピングが苦手なら練習しておくこと。   |      |                 |

|        |   |      |    |
|--------|---|------|----|
| 科目名    | 表計算処理演習   | 期間   | 前期 |
| 対象     | 高度職業実践科 IT スペシャリストコース 1 年<br>情報システム科 IT・アプリコース 1 年  | 授業回数 | 30 |
| 授業方法   | 演習  | 単位数  | 2  |
| 教員名    | 小坂 幸貴   | 分類   | 実務 |
| 目標     | Excel2021 の基本機能を使いこなす力を身につける。<br>サーティファイ主催 Excel 表計算処理技能認定試験 2 級または 3 級に合格する。   |      |    |
| 概要     | Excel2021 の基礎となる操作を学習する。<br>サーティファイ認定試験合格のための対策を行う。   |      |    |
| 評価方法   | 出席状況、授業態度（参加度）、宿題提出状況、検定の合否などを総合的に評価する。   |      |    |
| 授業計画   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Excel2021 の起動と終了、保存、各部の名称</li> <li>・ 入力、数式</li> <li>・ セルに対する操作</li> <li>・ SUM、AVERAGE、MAX、MIN、COUNT、COUNTA</li> <li>・ 印刷の設定、ROUND、ROUNDUP、ROUNDDOWN</li> <li>・ グラフ基本</li> <li>・ 並べ替え、抽出・RANK.EQ</li> <li>・ サーティファイ Excel 検定 3 級試験対策</li> <li>・ 2 級範囲の関数やマクロなど</li> </ul> |      |    |
| 使用教材等  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30 時間でマスター Excel2021（実教出版）</li> <li>・ サーティファイ Excel®表計算処理技能認定試験 3 級問題集(2021 対応)</li> </ul>   |      |    |
| 履修上の注意 | <p>適宜、宿題を課すので必ず提出すること。</p> <p>入力するデータが多いのでタイピング練習をしておくこと。</p> <p>わからない・できないことを放置せず、質問に来る等自学をおこなうこと。</p>   |      |    |

|        |  |      |    |
|--------|--|------|----|
| 科目名    | 文書処理演習   | 期間   | 通年 |
| 対象     | 高度職業実践科 IT スペシャリストコース1年<br>情報システム科 IT・アプリコース1年   | 授業回数 | 30 |
| 授業方法   | 演習   | 単位数  | 2  |
| 教員名    | 小松 玲   | 分類   | 一般 |
| 目標     | タッチタイピング技能を習得。全国経理教育協会主催 文書処理能力検定試験1・2級の合格をめざす。  |      |    |
| 概要     | Word2021 の基本操作を習得し、実務に役立つビジネス文書や表・図などを取り入れた文書作成を身につける。ワープロ機能に関する基礎知識も覚えること。  |      |    |
| 評価方法   | 出席状況、授業態度、課題提出および検定試験の成績などの総合評価とする。  |      |    |
| 授業計画   | 1Word 入門<br>Word2021 起動と終了、画面構成、文字の入力、特殊な入力方法<br>2文書の作成<br>保存と読み込み、印刷、文字の複写・削除・移動<br>3～4Word の活用1<br>編集機能、表の編集、画像・テキストボックスの挿入<br>5～7Word の活用2<br>画像の利用、ワードアート、図形描画、スマートアート、<br>段組み・ドロップキャップ・ページ罫線<br>8～10Word の応用<br>はがき作成、差し込み印刷、グラフの挿入<br>11 ～ 20文書処理能力検定試験対策<br>図形を挿入したビジネス文書作成<br>ワープロ機能基礎知識、国語力（筆記）<br>入力（10 分間 500 字～700 字）<br><br>▶2 級 500 字 ▶1 級 700 字 |      |    |
| 使用教材等  | ・30 時間でマスター Word2021（実教出版）<br>・文書処理能力検定試験 最新過去問題集（全国経理教育協会）  |      |    |
| 履修上の注意 | タッチタイピングの正しい入力を身につけることが資格取得につながります。<br>授業以外の時間を利用してタイピングを繰り返し練習すること。<br>基本的なビジネス文書のルールを理解し、文書作成に慣れること。   |      |    |

|        |   |      |    |
|--------|---|------|----|
| 科目名    | マイトレーニング  | 期間   | 後期 |
| 対象     | 高度職業実践科 IT スペシャリストコース1年<br>情報システム科 IT・アプリコース1年  | 授業回数 | 15 |
| 授業方法   | 演習  | 単位数  | 1  |
| 教員名    | 黒澤 勝、米谷 久志、他  | 分類   | 一般 |
| 目標     | 習得したツールや技術などを組み合わせ、実務的で効率のよい演習を繰り返すことで熟練度の向上を図る。  |      |    |
| 概要     | 個人で検定試験合格や競技大会出場、コンテスト入賞など目標設定し、伸ばしたいスキルを磨く。  |      |    |
| 評価方法   | 授業態度（参加度）、制作工程管理、プレゼンテーション、成果物などの総合評価   |      |    |
| 授業計画   | <ul style="list-style-type: none"> <li>•</li> <li>1 概要説明</li> <li>2 目標設定</li> <li>3～ 自主学習<br/>(学習テーマ例) <ul style="list-style-type: none"> <li>・検定試験合格対策</li> <li>・TechFul プログラミングコンテスト</li> <li>・企業連携制作</li> </ul> </li> <li>4 3 成果物まとめ</li> <li>4 4 プレゼンテーション</li> <li>4 5 振り返り</li> </ul> |      |    |
| 使用教材等  | なし（適宜必要なマニュアルやテクニックを自分で調べる）   |      |    |
| 履修上の注意 | 成果物の提出期限を厳守すること。スケジュールの見直しが必要な場合は必ず担当教員と相談すること。   |      |    |

|        |  |      |                |
|--------|--|------|----------------|
| 科目名    | キャリア開発 I   | 期間   | 通年             |
| 対象     | 1年全学科  | 授業回数 | 15             |
| 授業方法   | 講義   | 単位数  | 2              |
| 教員名    | 佐々木啓子 他  | 分類   | 実務<br>(企業人事担当) |
| 目標     | 自らのキャリアを主体的に捉え、働くために必要な能力について意識し、社会人、企業人として求められる人材能力を高める。  |      |                |
| 概要     | 地域や社会で活躍する企業担当者・卒業生等を講師に迎え、社会人・企業人にとって必要なコミュニケーションスキルを、実践を通して身につける。  |      |                |
| 評価方法   | 出席状況、授業態度（参加度）、実践演習などの総合評価   |      |                |
| 授業計画   | 1 コミュニケーションの目的・重要性<br>2 基本要素<br>・あいさつ ・言葉づかい ・話し方、表情、ジェスチャー<br>3 状況別のコミュニケーション<br>・職場でのコミュニケーション ・電話<br>4 人間関係を作るためのトレーニング（1）<br>・意思疎通 ・協調性 ・自己表現能力<br>5 人間関係を作るためのトレーニング（2）<br>・電話対応の基本 ・面接対策 ・職業人講話<br>6～10 人間関係を作るためのトレーニング（3）<br>・グループワーク他<br>11 就職活動対策（1） 「就職活動の進め方」<br>12 就職活動対策（2） 「職業人講話」<br>13 就職活動対策（3） 「ビジネスマナーと電話対応の基本」<br>14 就職活動対策（4） 「自己分析・自己理解」<br>15 就職活動対策（5） 「労働法について・面接対策」 |      |                |
| 使用教材等  | ・プリント等   |      |                |
| 履修上の注意 | グループワークなどの実践演習を行います。   |      |                |